

「医療事故調査制度開始3年の動向」

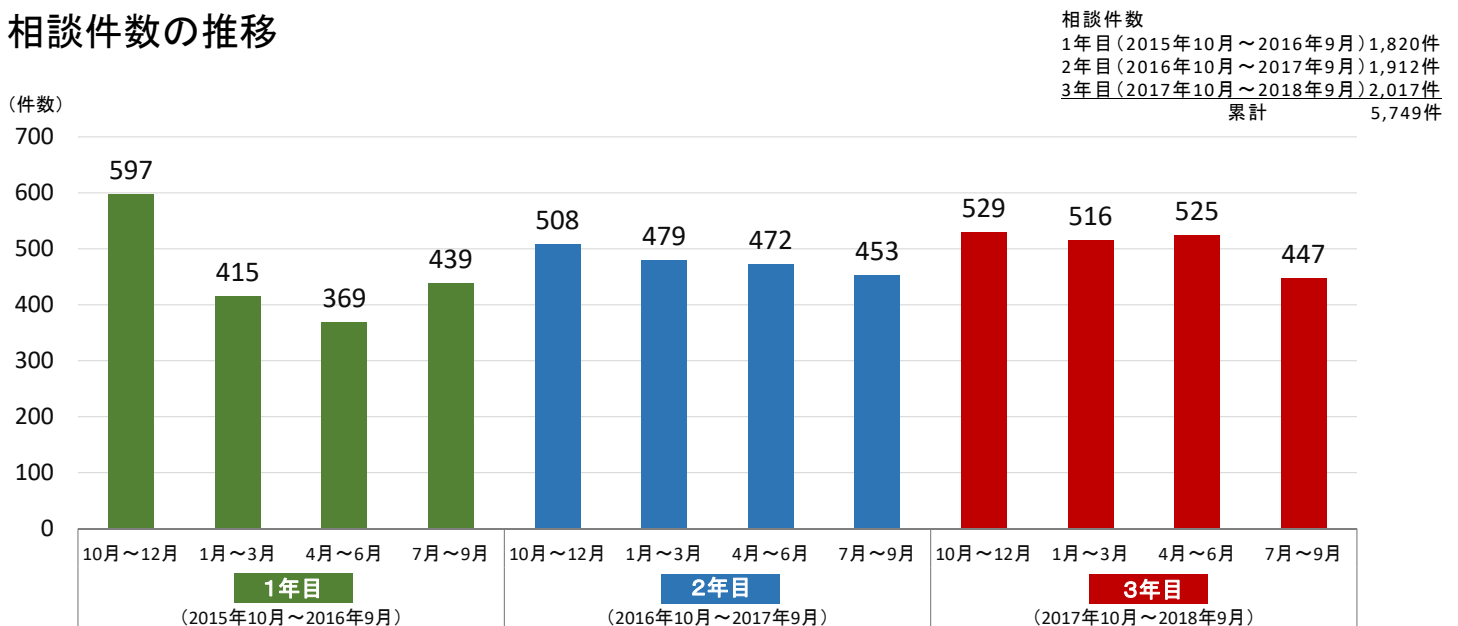
(平成27年10月～平成30年9月)

平成30年12月

一般社団法人 日本医療安全調査機構

相談の状況

1. 相談件数の推移

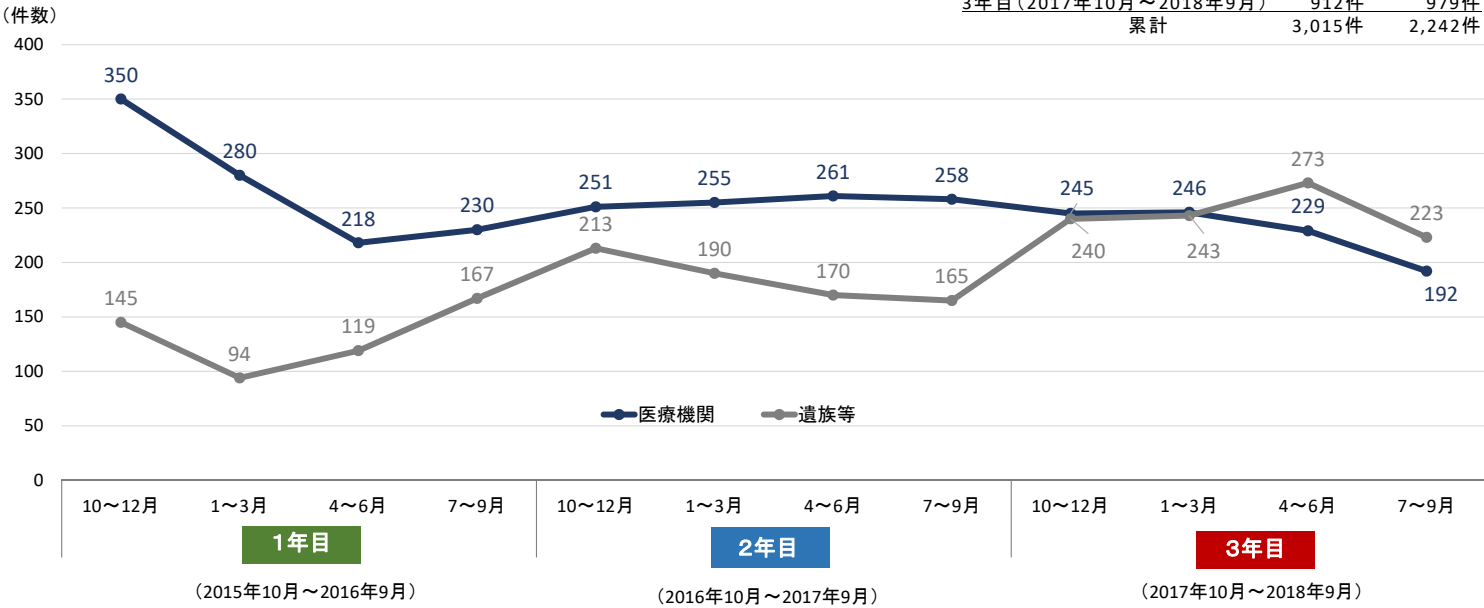


※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に文書等が数件含まれる。

制度3年の現況

相談件数は、少しずつ増加しているものの、1年間におおむね2,000件前後で推移している。

2. 相談者別件数の推移

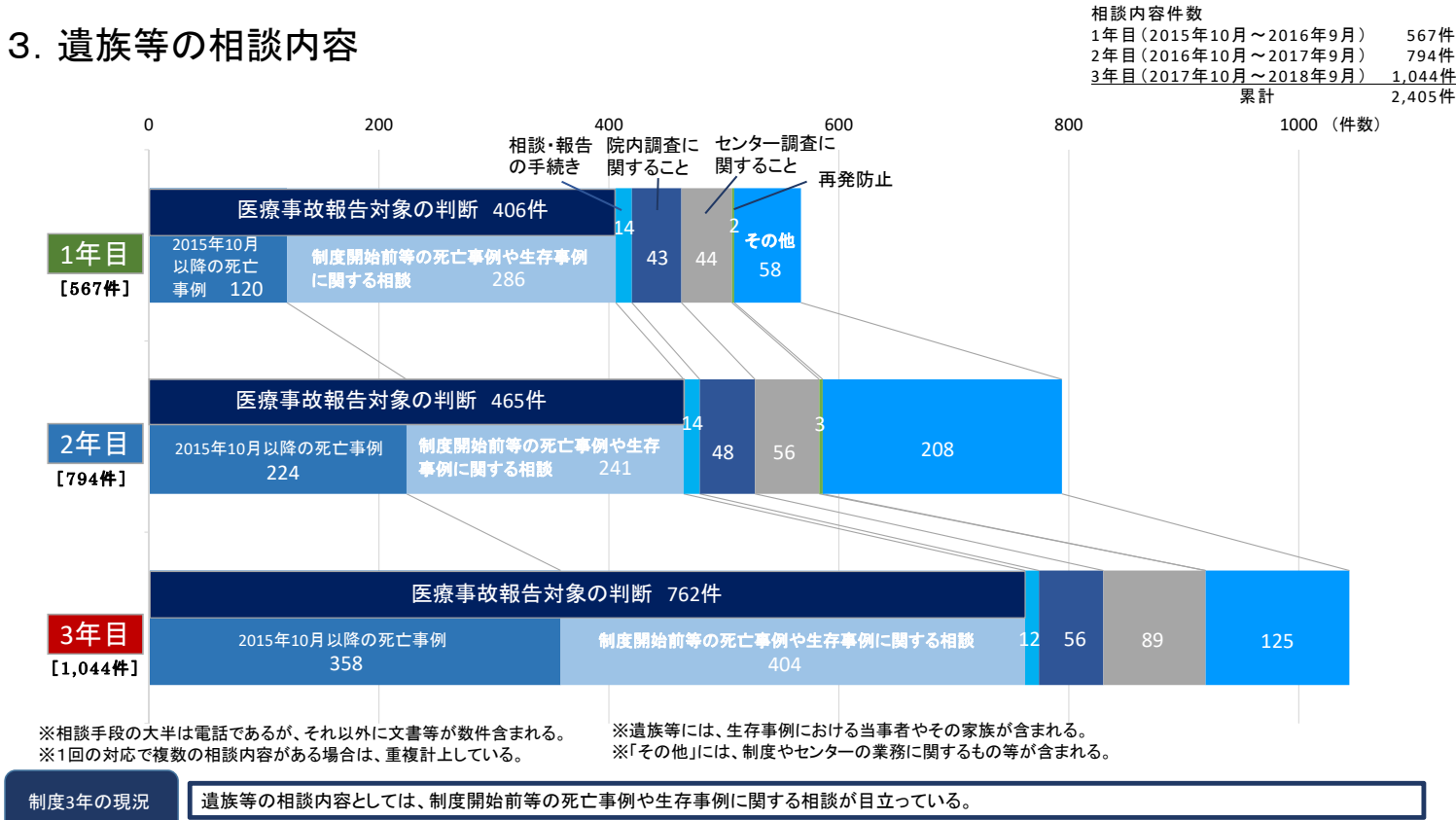


※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に文書等が数件含まれる。
※遺族等には、生存事例における当事者やその家族が含まれる。

制度3年の現況

相談者の内訳は、1年目、2年目は医療機関からの相談が四半期ごとで250件強で遺族等からの相談を上回っていたが、3年目に入ると遺族等からの相談が増え、医療機関からの相談を上回っている。

3. 遺族等の相談内容



4. 遺族からの求めに応じて医療機関へ伝達した件数

伝達件数
1年目(2016年7月～2016年9月) 7件
2年目(2016年10月～2017年9月) 20件
3年目(2017年10月～2018年9月) 31件
累計 58件

(件数)				
医療機関	1年目	2年目	3年目	合計
病院	7	17	29	53
診療所	0	3	2	5
助産所	0	0	0	0
合計	7	20	31	58

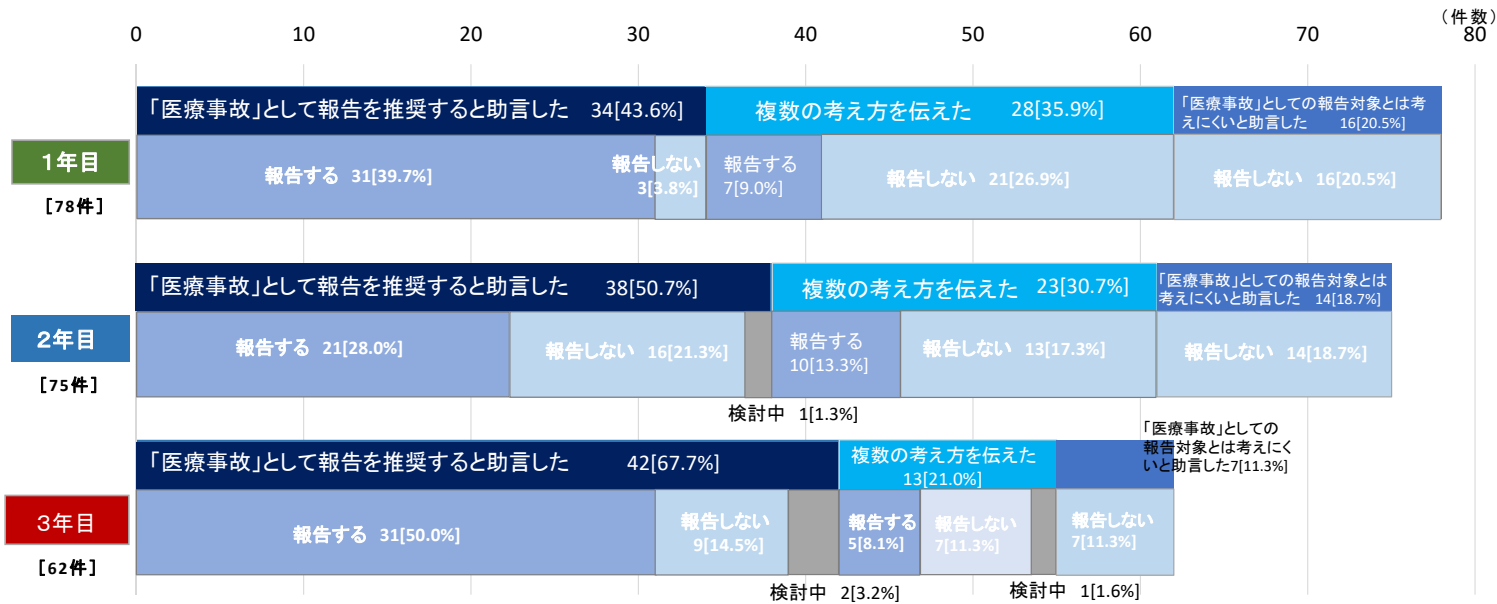
※医療機関への伝達は、厚生労働省医政局総務課長通知(平成28年6月24日医政総発0624第1号)「遺族等からの求めに応じて、相談の内容等を病院等の管理者に伝達すること」に基づく。

制度3年の現況

遺族からの求めに応じて医療機関へ伝達した件数は、増加傾向にある(1年目は実質3ヶ月間である)。

5. センター合議における助言内容および医療機関の判断と対応

センター合議件数
1年目(2015年10月～2016年9月) 78件
2年目(2016年10月～2017年9月) 75件
3年目(2017年10月～2018年9月) 62件
累計 215件



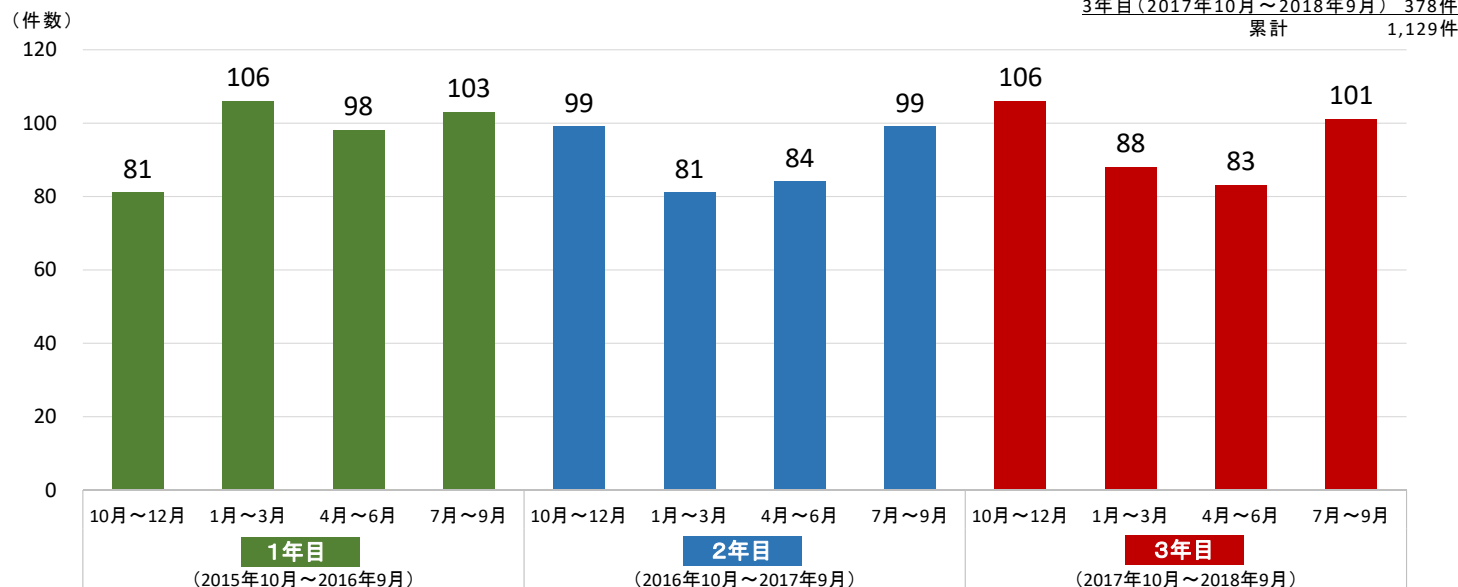
※センター合議とは、医療機関が行う「医療事故か否かの判断」に関する支援として、センターの複数名の専門家により合議を行い、その結果を医療機関へ助言として伝えるものである。
※割合については、小数点第2位を四捨五入したものであり合計が100.0にならないことがある。

制度3年の現況

センター合議は215件実施した。「報告を推奨すると助言した」もののうち、医療機関が「報告する」と判断されたものが1年目は31件(39.7%)、2年目は21件(28.0%)、3年目は31件(50.0%)であった。「複数の考えを伝えた」もののうち、医療機関が「報告する」と判断されたものが1年目は7件(9.0%)、2年目は10件(13.3%)、3年目は5件(8.1%)であった。

医療事故発生報告の状況

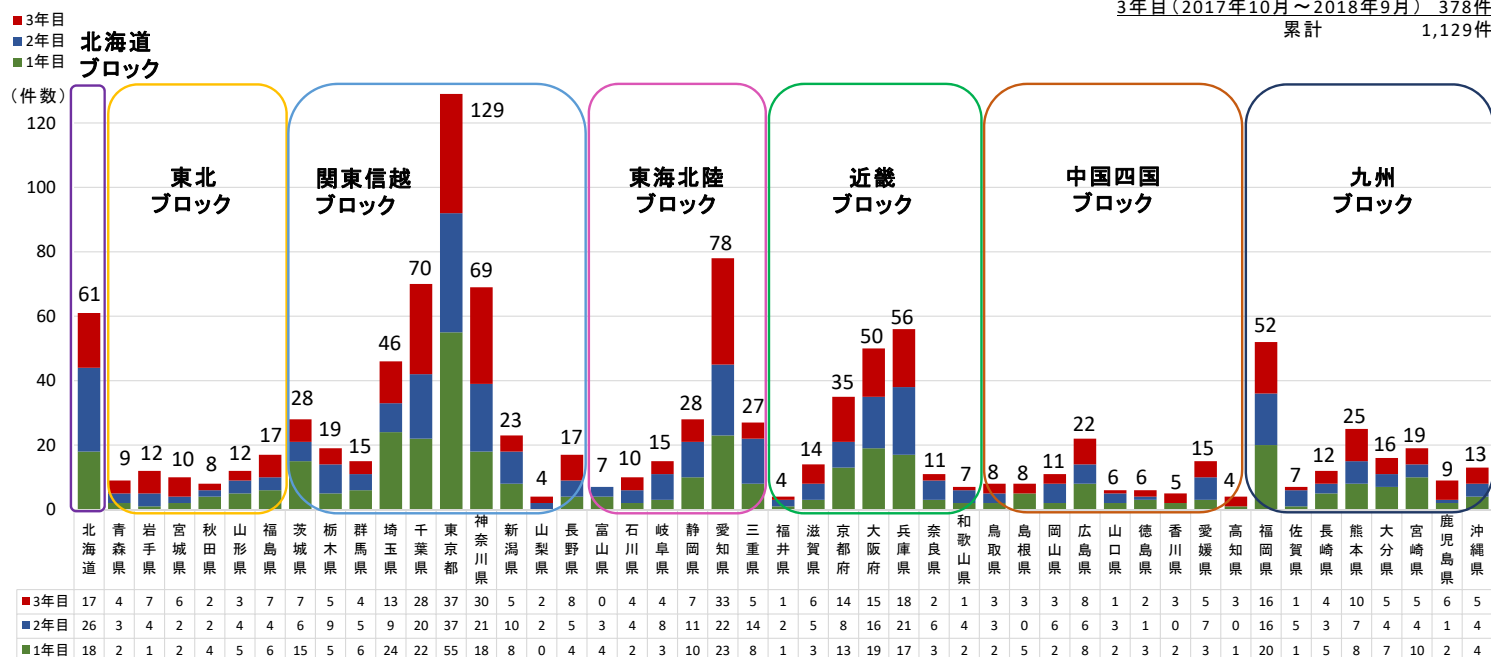
6. 医療事故発生報告件数の推移



制度3年の現況

医療事故発生報告件数は、大きな増減なく推移している。

7. 都道府県別医療事故発生報告件数

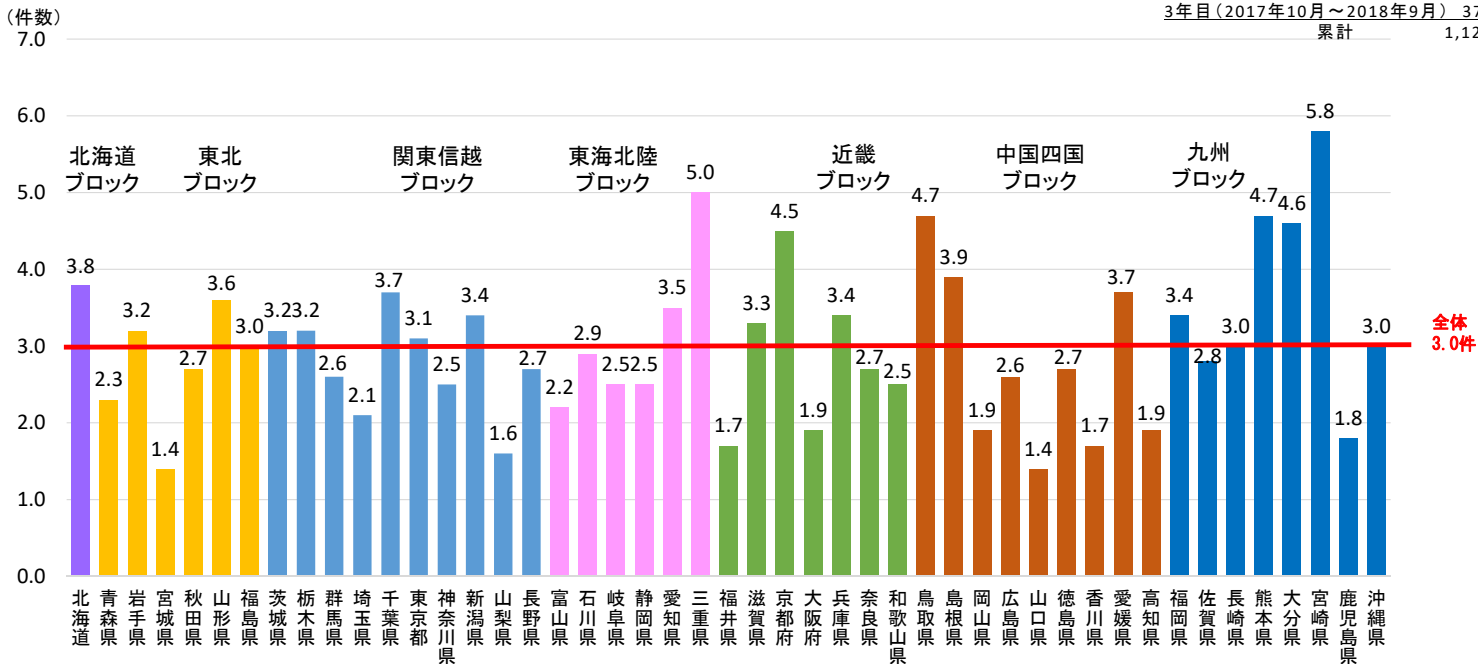


制度3年の現況

都道府県別にみた医療事故発生報告件数は、「東京都」129件、次いで「愛知県」78件であった。制度開始からの医療事故発生報告件数が最も多かったのは「東京都」であった。

8. 都道府県別人口100万人あたりの医療事故発生報告件数〔1年換算〕

医療事故発生報告件数
1年目（2015年10月～2016年9月） 388件
2年目（2016年10月～2017年9月） 363件
3年目（2017年10月～2018年9月） 378件
累計 1,129件



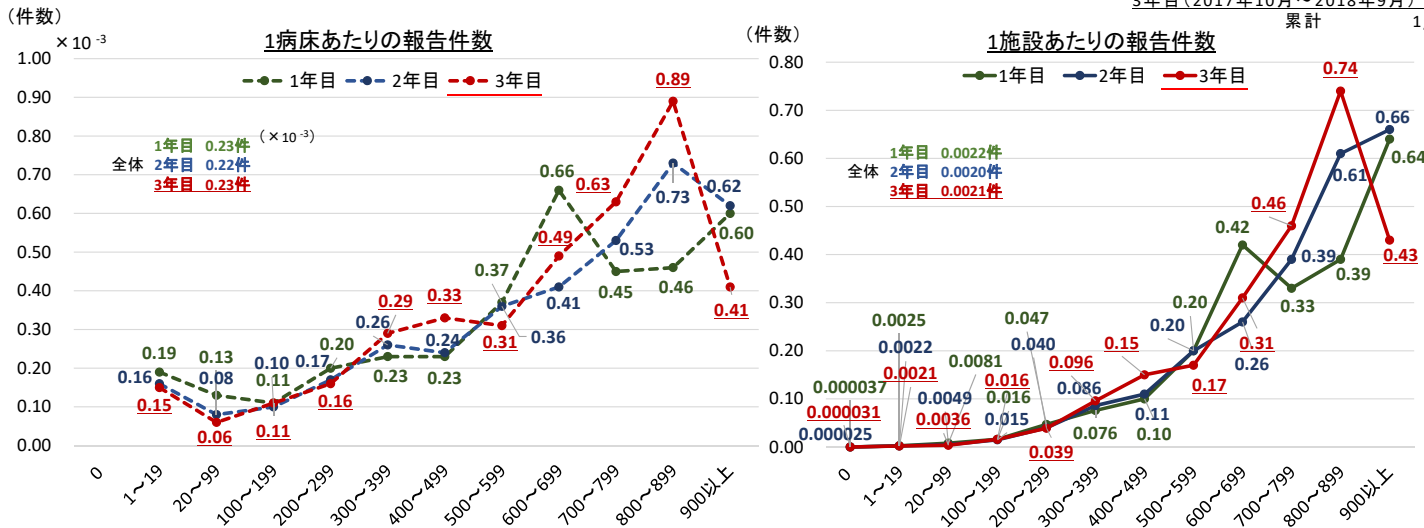
※人口100万人あたりの報告件数〔1年換算〕については、医療事故報告件数の累計（2015年10月～2018年9月まで）/3.0/人口（「平成29年人口推計」総務省統計局）×100万として算出している。

制度3年の現況

都道府県別人口100万人あたりの医療事故発生報告件数を1年換算した件数は全体で3.0件/年であった。最も多かったのは「宮崎県」5.8件、次いで「三重県」5.0件であった。

9. 病床規模別1病床および1施設あたりの医療事故発生報告件数

医療事故発生報告件数
1年目（2015年10月～2016年9月） 388件
2年目（2016年10月～2017年9月） 363件
3年目（2017年10月～2018年9月） 378件
累計 1,129件



※「1病床あたりの報告件数」及び「1施設あたりの報告件数」は、1年目を2015年10月～2016年9月、2年目を2016年10月～2017年9月、3年目を2017年10月～2018年9月の報告件数/病床数及び施設数として算出し、有効数字2桁で表示している。

※病床数及び施設数は、1年目は「平成27年医療施設調査」、2年目は「平成28年医療施設調査」に基づき算出している。なお、平成29年医療施設調査はまだ公表されておらず、3年目の件数は「平成28年の医療施設調査」に基づき算出している。

※病床数には、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床、一般診療所を含む。

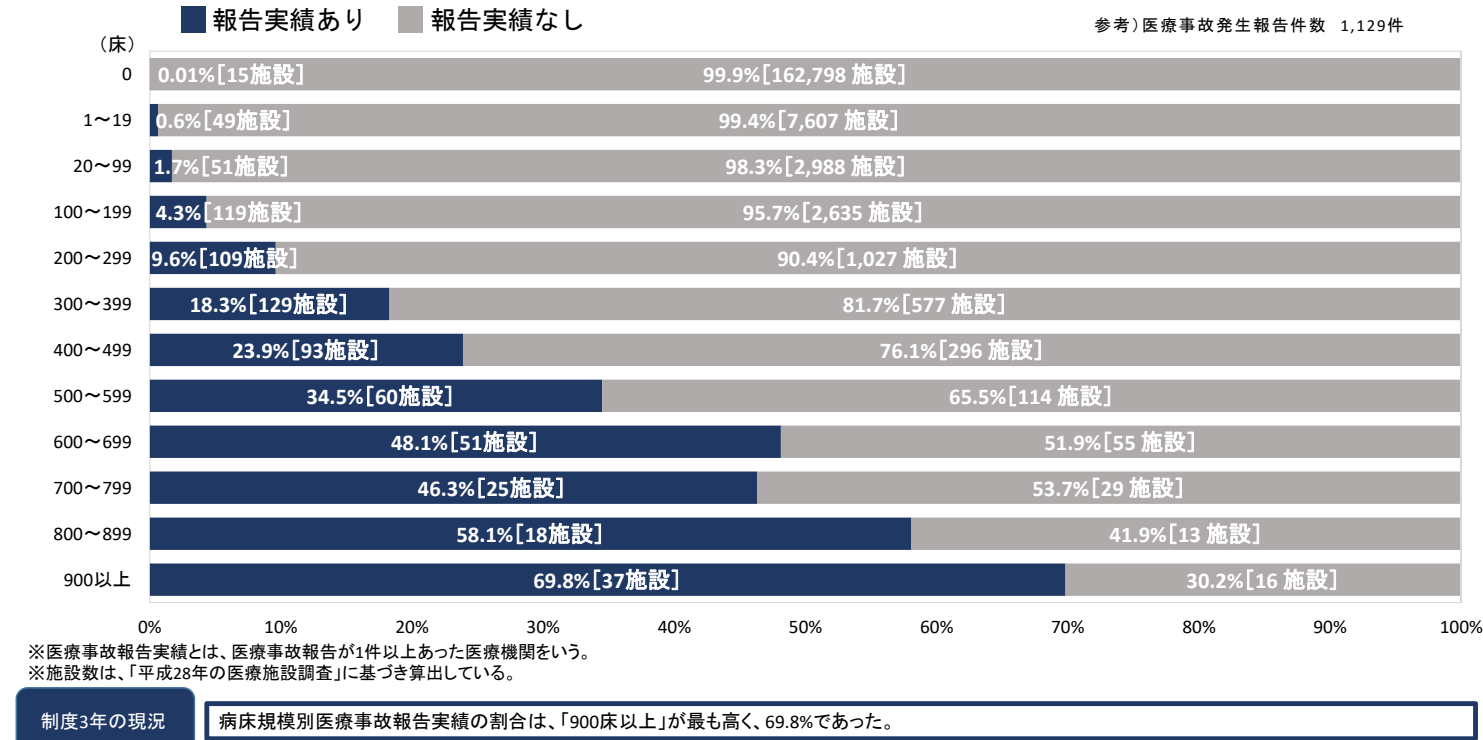
制度3年の現況

1病床あたりの医療事故発生報告件数が最も多かったのは「800～899床」0.89件（ $\times 10^{-3}$ ）（3年目）で、次いで多かったのが「800～899床」0.73件（ $\times 10^{-3}$ ）（2年目）であった。また1施設あたりの医療事故発生報告件数が最も多かったのは、「800～899床」0.74件（3年目）で次いで多かったのが「900床以上」の0.66件（2年目）であった。

10. 病床規模別医療事故報告実績の割合

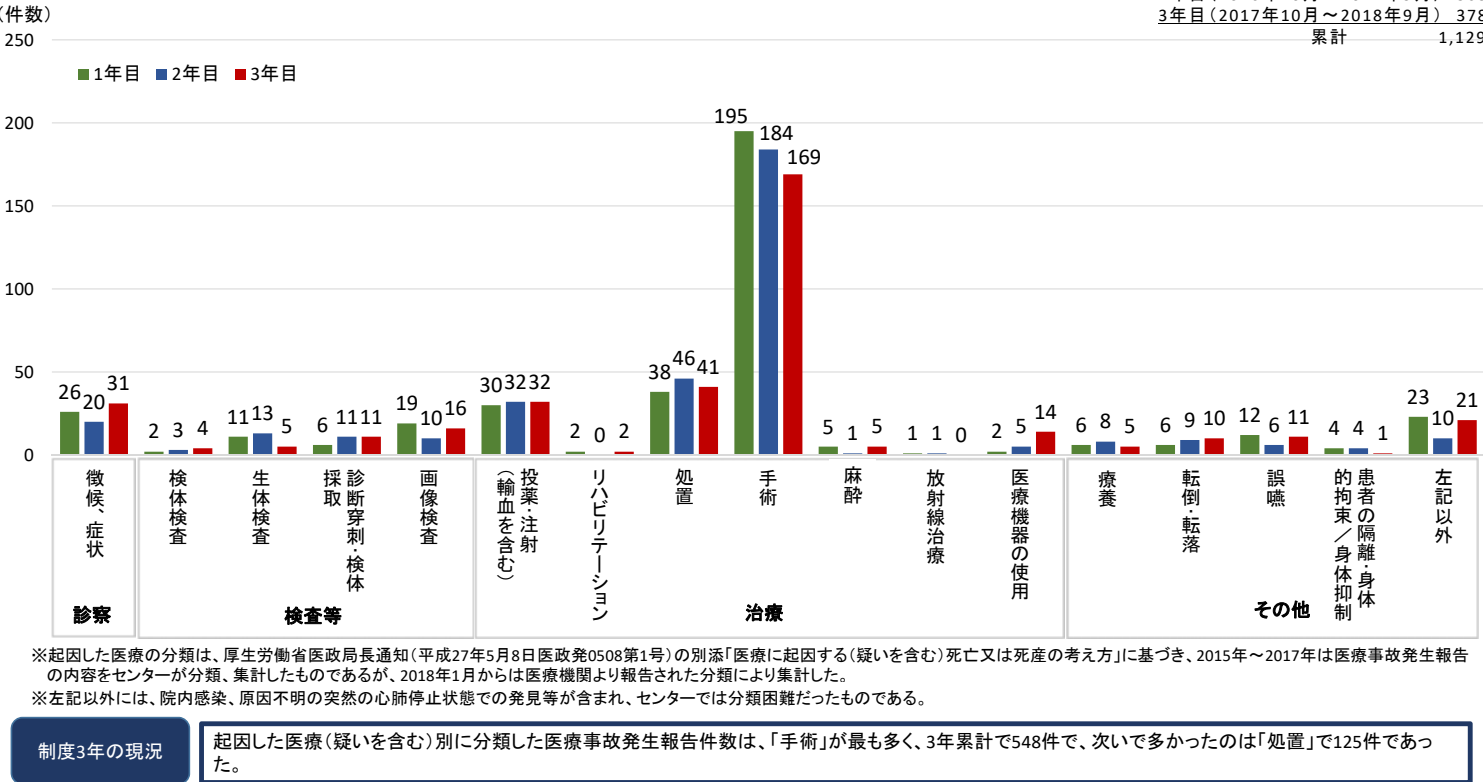
報告実績あり 756施設 (0.4%)
報告実績なし 178,155施設 (99.6%)
合計 178,911施設

参考) 医療事故発生報告件数 1,129件



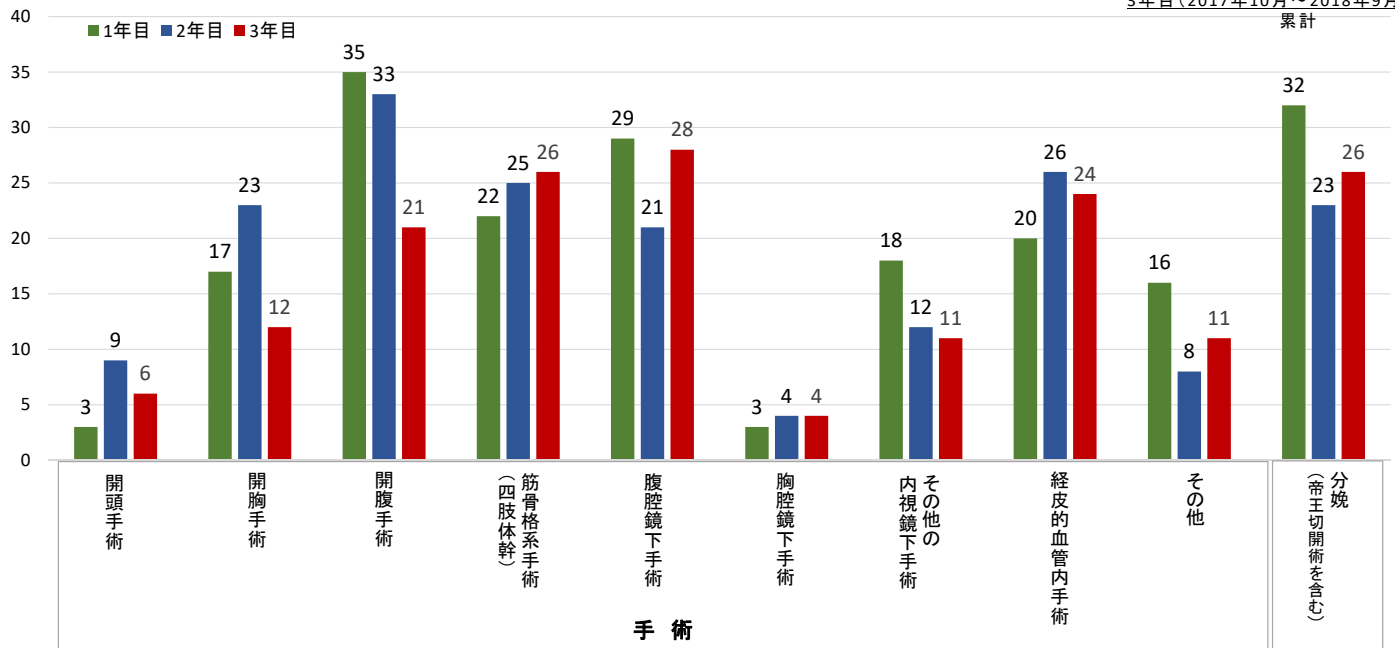
11－① 起因した医療(疑いを含む)の分類別医療事故発生報告件数

医療事故発生報告件数
1年目(2015年10月～2016年9月) 388件
2年目(2016年10月～2017年9月) 363件
3年目(2017年10月～2018年9月) 378件
累計 1,129件



11-②「手術(分娩を含む)」の内訳

(件数)



※手術は、「平成26年患者調査」(厚生労働省)の「病院退院票」http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/dl/kanjya/H26_byouin_tain.pdfにおける手術名に基づく分類である。

※「その他」には、気管切開術、ペースメーカー植込み術、口腔外科手術、ラジオ波焼灼術等が含まれる。

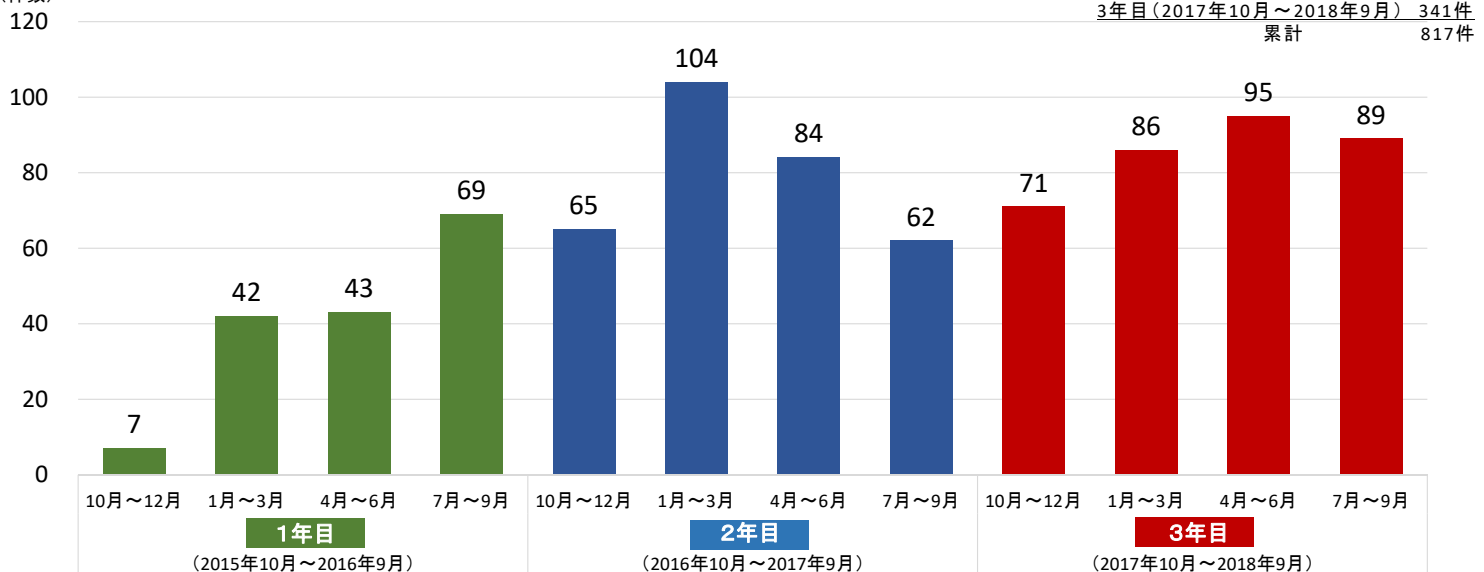
制度3年の現況

手術(分娩を含む)の内訳で、医療事故発生報告件数が最も多かったのは開腹手術で累計で89件であった。

院内調査結果報告の状況

12. 院内調査結果報告件数の推移

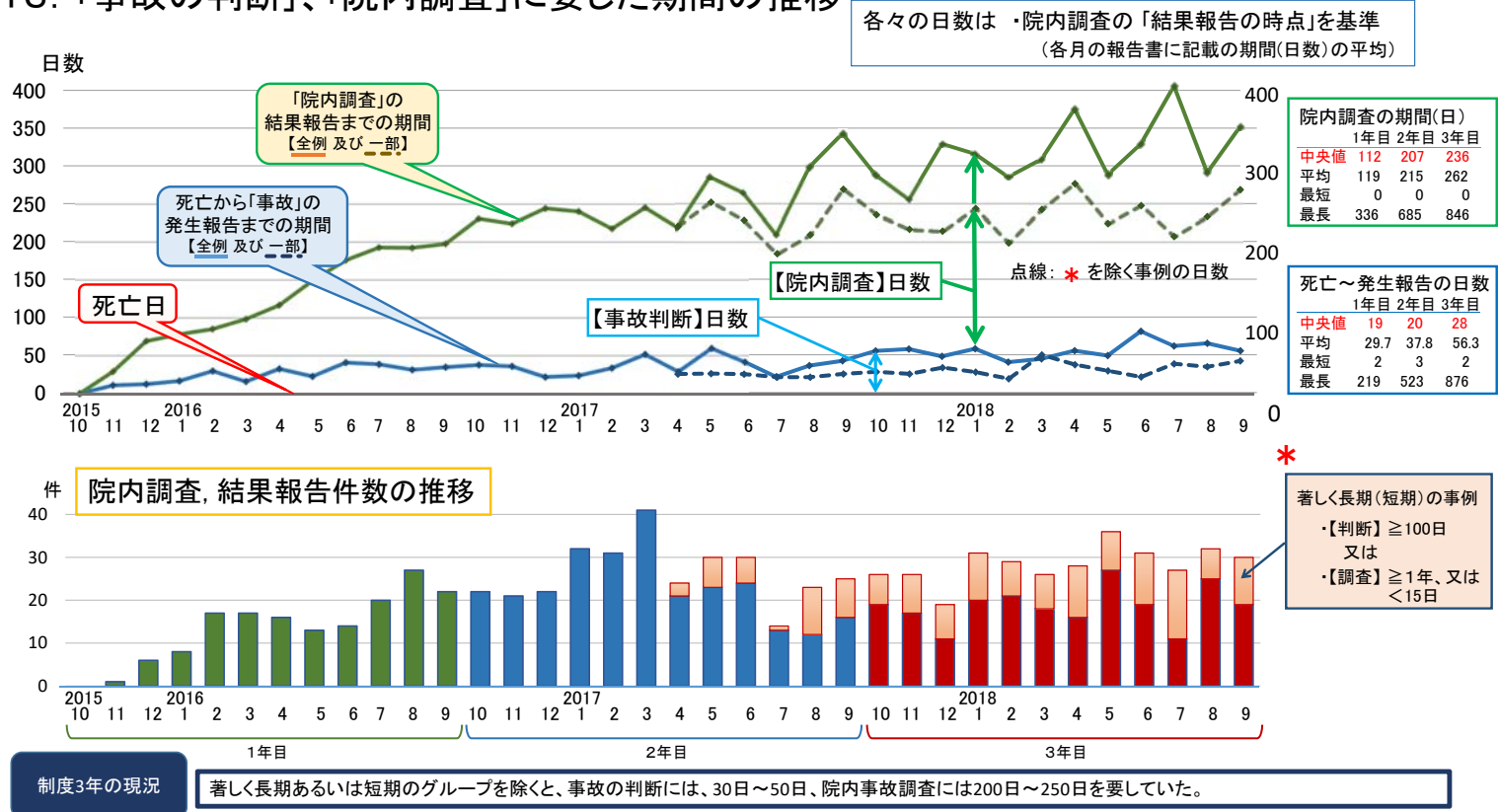
(件数)



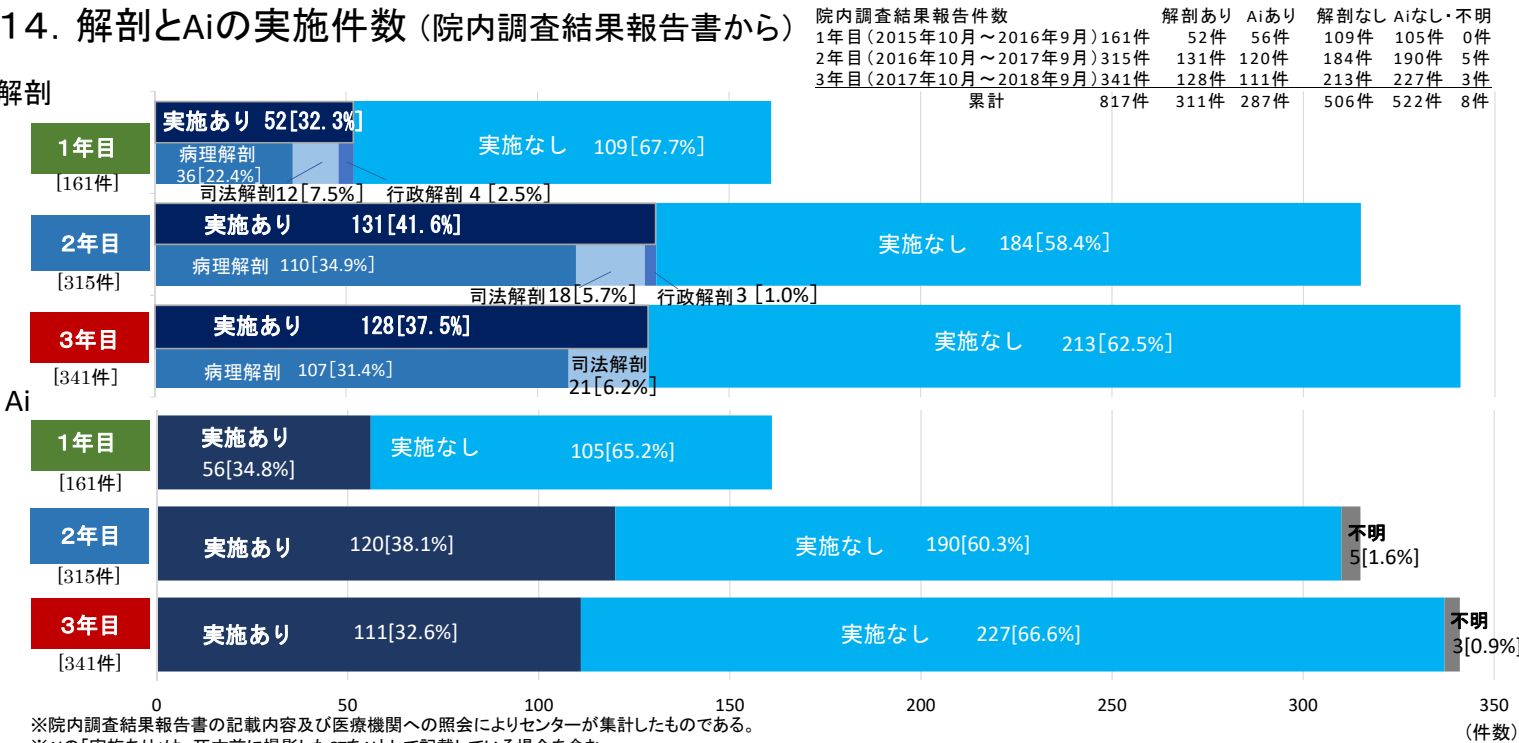
制度3年の現況

院内調査結果の推移は1年目は161件、2年目は315件、3年目は341件であった。

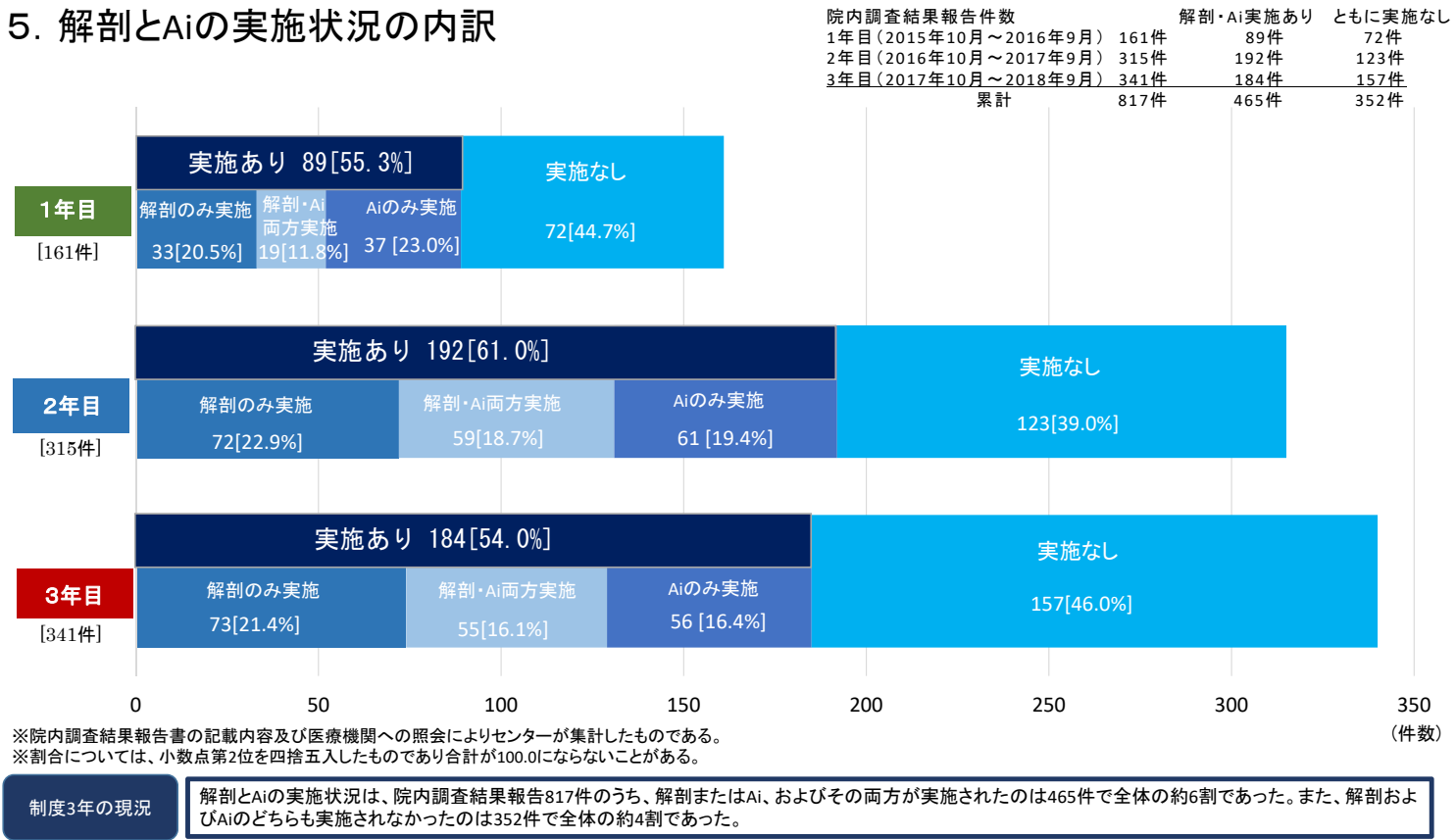
13. 「事故の判断」、「院内調査」に要した期間の推移



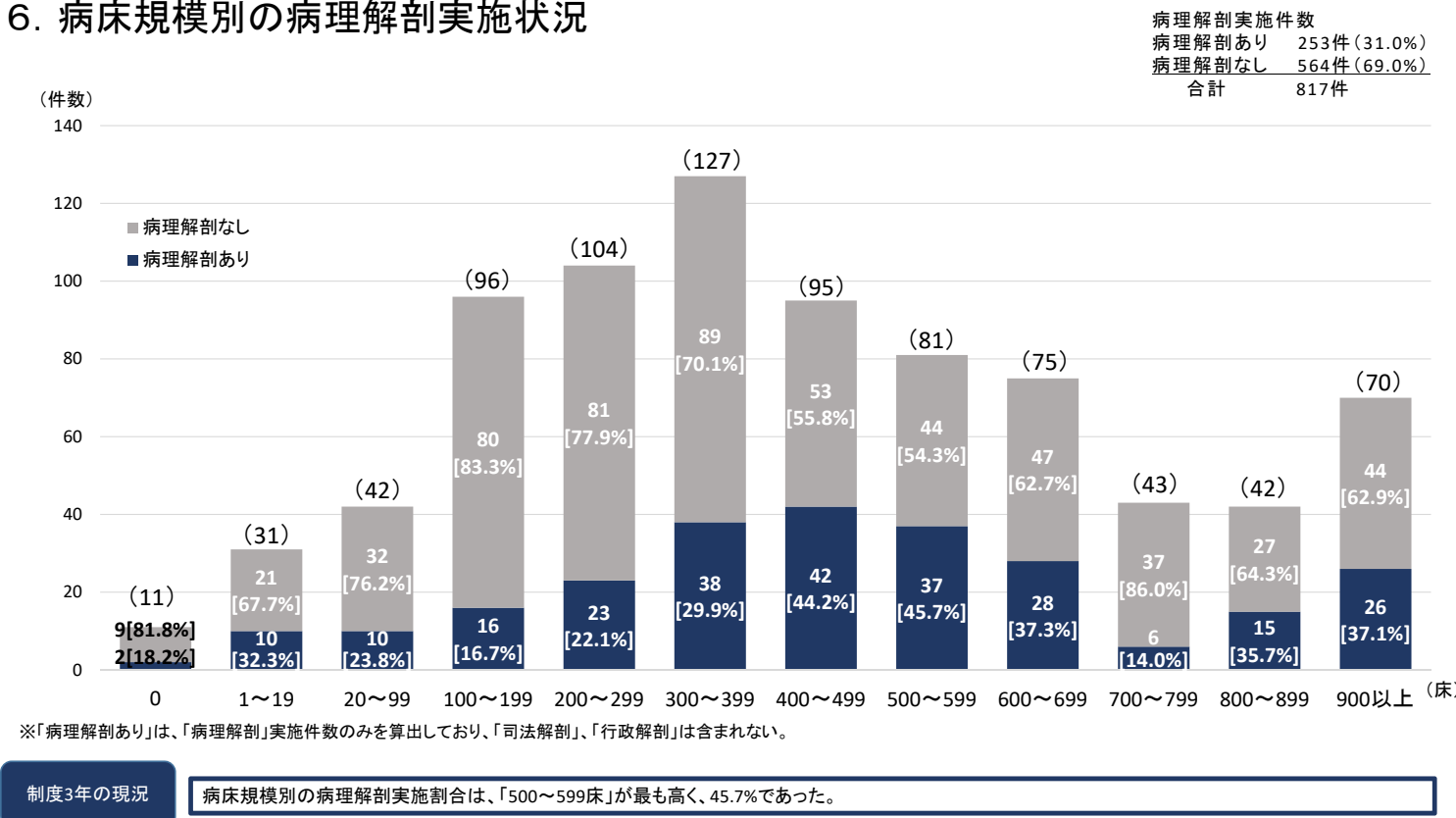
14. 解剖とAiの実施件数 (院内調査結果報告書から)



15. 解剖とAiの実施状況の内訳

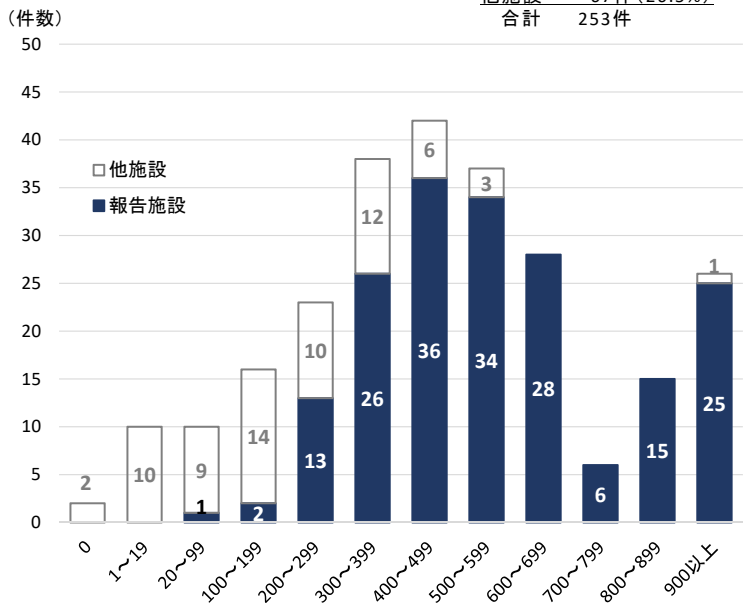


16. 病床規模別の病理解剖実施状況



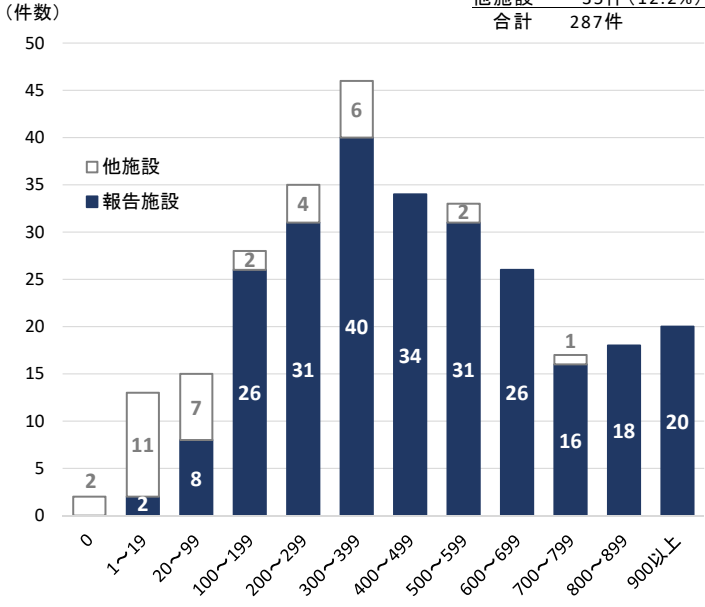
17. 病床規模別の病理解剖およびAi実施状況

病理解剖



※病理解剖が実施されたものについて概算で集計している。

Ai



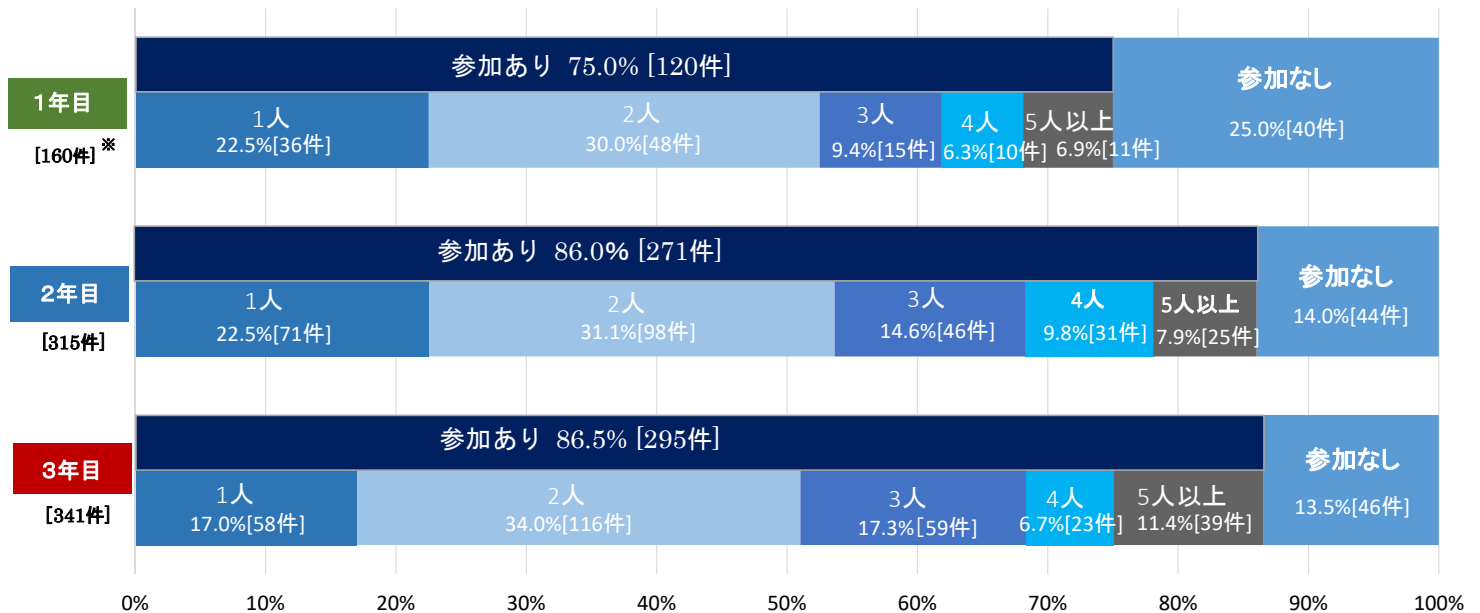
※Aiが実施されたものについて概算で集計している。

制度3年の現況

病理解剖の実施は、最も多かったのは、「400～499床」で42件であった。Aiの実施は、最も多かったのは、「300～399床」で46件であった。病床規模の小さい施設の解剖においては、支援団体等の協力による他施設での解剖が行われていた。

18. 外部委員の参加状況

院内調査結果報告件数		参加あり	参加なし
1年目 (2015年10月～2016年9月)	160件	120件	40件
2年目 (2016年10月～2017年9月)	315件	271件	44件
3年目 (2017年10月～2018年9月)	341件	295件	46件
累計	816件	686件	130件



※院内調査結果報告書の記載内容及び医療機関への照会によりセンターが集計したものである。
※割合については、小数点第2位を四捨五入したものであり合計が100.0にならないことがある。
※委員会の設置がなかったもの(1件)を除いて集計している。

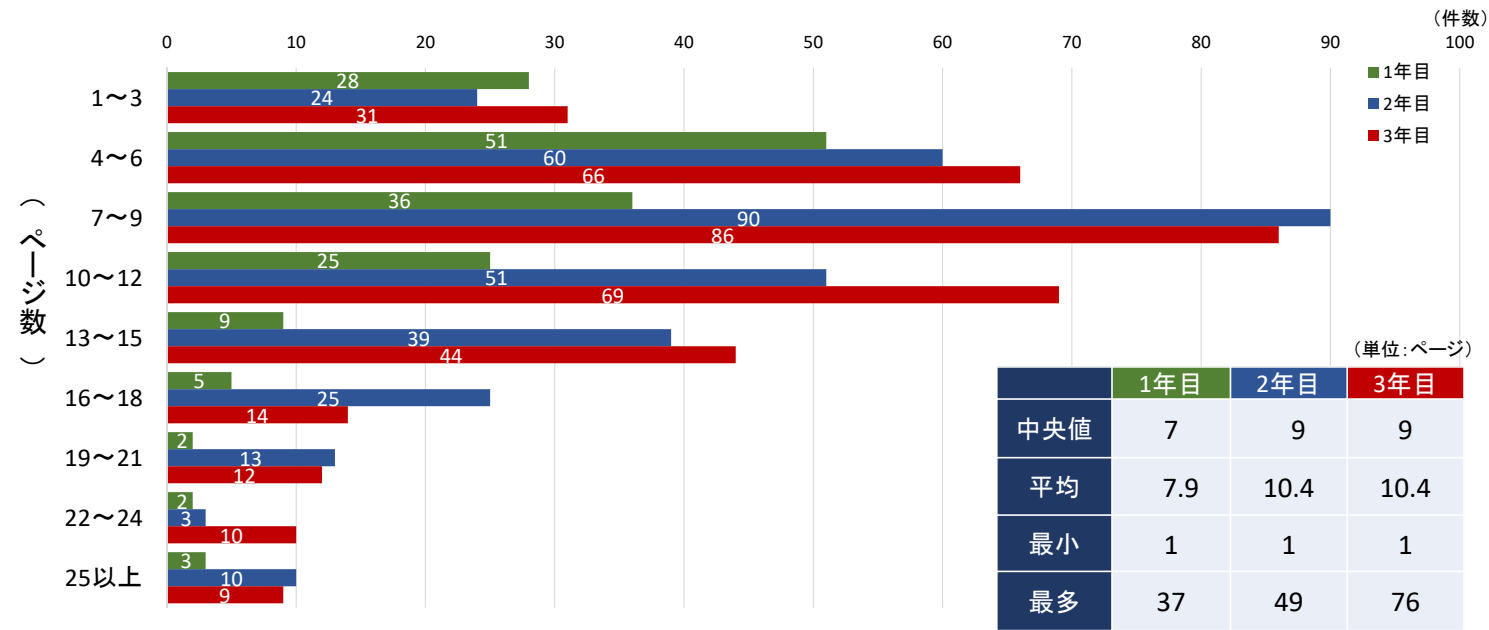
制度3年の現況

院内調査委員会の設置があった816件のうち、外部委員の参加があったのは、1年目で120件(75.0%)、2年目で271件(86.0%)、3年目で295件(86.5%)で全体で686件(84.1%)であった。そのうち、複数人の参加が年と共に漸増していた。

19. 院内調査結果報告書のページ数

院内調査結果報告件数

1年目(2015年10月～2016年9月)	161件
2年目(2016年10月～2017年9月)	315件
3年目(2017年10月～2018年9月)	341件
累計	817件



※院内調査結果報告書の表紙、目次、添付資料を除いたページ数をセンターが集計したものである。

制度3年の現況

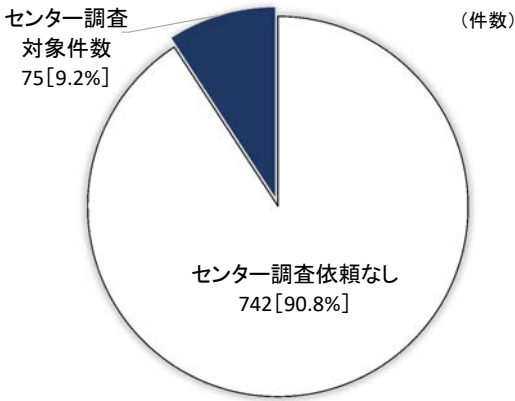
院内調査結果報告書で最も多かったページ数は1年目で「4～6ページ」であったが、2年目、3年目は「7～9ページ」が多かった。中央値は1年目が「7ページ」、2年目が「9ページ」、3年目も「9ページ」であった。平均は1年目が「7.9ページ」、2年目は「10.4ページ」、3年目も「10.4ページ」であった。

センター調査の状況

20. センター調査対象件数

1 センター調査対象件数

院内調査結果報告件数
累計 817件



※割合については、小数点第2位を四捨五入したものであり合計が100.0にならないことがある。

制度3年の現況

院内調査結果報告件数は817件であり、そのうちセンター調査対象となった事例は75件(9.2%)であった。依頼者の内訳は、「医療機関からの依頼」は1年目3件(18.8%)、2年目8件(32.0%)、3年目4件(11.8%)で、「遺族からの依頼」は、1年目13件(81.3%)、2年目17件(68.0%)、3年目30件(88.2%)であった。

2 依頼者の内訳

院内調査結果報告件数	医療機関からの依頼	遺族からの依頼
1年目(2015年10月～2016年9月)	3件	13件
2年目(2016年10月～2017年9月)	8件	17件
3年目(2017年10月～2018年9月)	4件	30件
累計	15件	60件

